

認可

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

梶山女学園大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 梶山女学園
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

総務部長 コ 小 林 ツグ アキ

(担当者 ナカ イ アツ ヒト
中 井 厚 仁)

電話番号 052-781-4317

F A X 052-781-8831

E-mail soumuka@ml.sugiyama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1～3
2	授業科目の概要	4～7
3	施設・設備の整備状況、経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	10～17
6	留意事項に対する履行状況等	18～21
7	その他全般的事項	22～27

(資料) 1 スクールバス時刻表

2 入学定員の超過状況 (国際コミュニケーション学部)

3 椋山女学園大学全学FD委員会規準

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 相山女学園

(2) 大学名

相山女学園大学

(3) 大学の位置

愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(スギヤマ マサ ヒロ) 相山正弘 (平成17年4月1日)		
学長	(ノブチ タツ オ) 野淵龍雄 (平成20年4月1日)		
学部長	(ゴトウ セツ コ) 後藤節子 (平成22年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)
平成22年度に報告する内容 → (22)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	100人	0人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
		()人	()人	()人	()人		
A	入学定員	() -	() -	() -	() 100	1.05倍	
	志願者数	() -	() -	() -	() 665		
	受験者数	() -	() -	() -	() 644		
	合格者数	() -	() -	() -	() 222		
B	入学者数	() -	() -	() -	() 105		
	入学定員超過率 B/A	() -	() -	() -	() 1.05		

- (注) ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
		()	()	()	()	
1年次		[] -	[] -	[] -	[] 105	
2年次		/	[] -	[] -	[] -	
3年次		/	/	[] -	[] -	
4年次		/	/	/	[] -	
計		[] -	[] -	[] -	[] 105	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [0人] 0人	(累積)計 [0人] 105人	[0%] 0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 105人	
	(主な退学理由) 該当なし		
平成23年度	計 [人]	(累積)計 [人]	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 [人]	(累積)計 [人]	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度	計 [人]	計 [人]	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	平成25年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。

・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	人間論	1前	2			2						
教養教育科目	思想と表現	哲学	1・2後		2							
		文学	1・2前		2							
		芸術	1・2後		2							
		心理	1前	2			1					
		人類学	1・2前		2							
	歴史と社会	歴史	1・2後		2							
		日本国憲法	1前 1後	2								より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更(22)
		教育	1・2前		2		1					
	自然と科学技術	環境の科学	1・2前		2							
		生命の科学	1前	2								
		自然の科学	1・2前 1・2後		2							より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更(22)
		物理の世界	1・2前 1・2後		2							より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更(22)
		化学の世界	1・2後		2							
	数理と情報	数理の世界	1・2前		2							
		統計の世界	1・2前 1・2後		2							より教育効果の高い時間割編成のため開講期別を変更(22)
		コンピュータと情報	1前	2								
		コンピュータと情報(応用)	1後		2							
	言語とコミュニケーション	外国語(英語)Ⅰ	1前	1								
		外国語(英語)Ⅱ	1後	1								
		外国語(英語)Ⅲ	1・2前		1							
		外国語(英語)Ⅳ	1・2後		1							
		外国語(中国語)Ⅰ	1・2前		1							
		外国語(中国語)Ⅱ	1・2後		1							
		外国語(ポルトガル語)Ⅰ	1・2前		1							
		外国語(ポルトガル語)Ⅱ	1・2後		1							
	健康運動とスポーツ	健康運動の科学と実践	1後	2								
ファーストイヤーゼミ	ファーストイヤーゼミ	1前	1			11	8	7	2	11	教育環境の充実のため、補助担当として助手を追加(22)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目（専門基礎科目）	人間の理解	人間関係論	1後	2								
		ボランティア論	2前	1								
		倫理学（バイオエシックス）	1後	1			1					
		臨床心理学	1後	1								
		カウンセリング論	2後	1								
		言語表現と伝達	1前		1							
		人体の構造機能学Ⅰ（総論）	1前	2			1					
		人体の構造機能学Ⅱ	1前	1			1					
		人体の構造機能学Ⅲ	1後	1			1					
		栄養代謝学（生化学を含む。）	1後	1			1					
		生体防御学（免疫学）	2前	1			1					
人間と健康	疾病治療論Ⅰ（総論）	1後	2			1						
	疾病治療論Ⅱ（成人・老年）	1後	1			2						
	疾病治療論Ⅲ（成人・老年）	2前	1			1						
	疾病治療論Ⅳ（母性・小児）	1後	1			2						
	栄養治療論（食品学を含む。）	2前	1			1						
	医療薬理学	2後	1			1						
	リハビリテーション論	1後	1			1						
	性差保健医学	4後		1		1						
医療活動と協働	4後		1									
人間と環境	感染予防学（微生物学）	2前	1			1	1					
	感染予防学演習	3前	1			1	1					
	社会福祉学	1前	2									
	公衆衛生学	2前	1			1						
	保健統計学	2前	1			1						
	疫学	2後	2			1		2				
	保健福祉行政論	3前	2			1						
	保健医療概論	3前		1		1						
	養護概論	2前		2								
基礎看護学	看護学概論（看護理論を含む。）	1前	2			1						
	看護倫理	1前	1			1						
	フィジカルアセスメント学演習	2前	1				2		1	4		
	看護過程展開方法論（ケースメソッドを含む。）	2前	1					1	1	4		
	看護過程展開論演習（ケースメソッドを含む。）	2後	1				2	1	1	4		
	コミュニケーション技術論演習	1後	1			1				4		
	基礎看護技術学演習Ⅰ（安全・安楽確保の援助技術）	1後	1			1	2	1		4		
	基礎看護技術学演習Ⅱ（生活行動の援助技術）	1後	1			1	1	1	1	4		
	基礎看護技術学演習Ⅲ（診療援助技術）	2前	1			1	1	1	1	4		
看護健康教育論	3前		2		2	1	4					
成人・老年看護学	療養支援看護学概論（成人・老年）	2前	2			1	2					
	療養支援看護論Ⅰ（急性期・回復期・周手術期）	2後	1			1	1					
	療養支援看護論Ⅱ（慢性期・老年期）	2後	1				2	2				
	療養支援看護論Ⅲ（終末期）	3後		1			1					
	療養支援看護論演習Ⅰ（成人期）	3前	1			1	2	1		5		
	療養支援看護論演習Ⅱ（老年期）	3前	1				1	1		2		
母性・小児看護学	母子支援看護学概論（小児・母性）	2前	2			1		1	1			
	母子支援看護論Ⅰ（小児）	2後	1			1		1				
	母子支援看護論Ⅱ（母性）	2後	1					1	1			
	母子支援看護論演習Ⅰ（小児）	3前	1			1		1		2		
	母子支援看護論演習Ⅱ（母性）	3前	1					1	1	3		
地域・在宅・精神看護学	地域・在宅・精神看護学概論	2前	2			1	1					
	在宅看護支援技術論	2後	1				1	1				
	地域看護支援論	2前	1			1	1					
	精神看護支援論（精神健康障害を含む。）	2後	1				1	1				
	在宅精神看護論	2後		1			1	2				
	地域看護行政・管理論	3前	2			1	2					
	地域看護活動実践論	2後	2				1	1				
	地域健康教育指導論	3前	1				1	1				
	地域・在宅看護学演習	3前	1			1	2	1		4		
	精神看護技術学演習	3前	1				1	1		2		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨地実習	早期体験実習	1前	1			1	3	2	1	8	
	基礎看護技術学実習	2後	1			1	2	1	1	8	
	看護過程展開論実習	3前	1			1	2	1	1	13	
	慢性期成人看護学実習	3～4通年	3			1	2	1		5	
	急性期成人看護学実習	3～4通年	3			1	1	1		3	
	老年看護学実習	3～4通年	2				1	1		4	
	小児看護学実習	3～4通年	3			1		1		2	
	母性看護学実習	3～4通年	2					1	1	4	
	精神看護学実習	3～4通年	2				1	1		2	
	在宅看護学実習	3～4通年	2			1	1	1		5	
	地域公衆衛生看護学実習	3～4通年	3			1	2	1		5	
	総合実習	4前	1			1		1	1	10	
総合看護学	看護管理学（リーダーシップ論を含む。）	3前	2			1					
	家族看護学	3前	2			1	2	2	1		
	国際看護論	4後		1							
	災害看護学	4後	1								
	リスクマネジメント（安全・管理）	2後	1								
	総合技術論演習	4後	1			1	2	1	1		
	統合看護論	4後	2			4	4	6			
	原書講読・研究序論	3後	1			11	8	7	2		
看護研究（卒業論文）	4通年	2			10	8	7	2			

(注) ・認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

・設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置認可時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

・授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）

・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
81	28	0	109	81	28	0	109	
				[]	[]	[]	[]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費
(星が丘キャンパス)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場については校舎敷 地と別地（バス12分）		
	校舎敷地	48,296.76 m ²			48,296.76 m ²			
	運動場用地	52,275.00 m ²			52,275.00 m ²			
	小 計	100,571.76 m ²			100,571.76 m ²			
	そ の 他	2,781.24 m ²			2,781.24 m ²			
	合 計	103,353.00 m ²			103,353.00 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	50,464.78 m ² (50,464.78m ²)			50,464.78 m ² (50,464.78 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	84室	61室	90室	26室 (補助職員11人)	0室 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学部 看護学科			36 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		冊	種					
	看護学部	343,390 [78,404] (343,390 [78,404])	2,011 [639] (2,011 [639])	5 [1] 5 [1]	18,324 (18,324)	5,505 (5,505)	108 (108)	
	計	343,390 [78,404] (343,390 [78,404])	2,011 [639] (2,011 [639])	5 [1] 55 [1]	18,324 (18,324)	5,505 (5,505)	108 (108)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	3,427.97 m ²	440 席	323,789 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			体育館以外のスポーツ施設については校舎敷地と別地（バス12分）			
	3,980.94 m ²	テニスコート 6 面	ゴルフ練習場 20 打席					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	1. 共同研究費 (1) Aは学部の教員を対象とし、配分は学部長が教員の希望を取りまとめ教授会で決定する。 (2) Bは全学の教員を対象とし、委員会配分を取りまとめ、学長が決定する。 2. 開設年度以降の図書購入費及び設備購入費については、新規事業予算としての見積りはない。経常費予算の中で必要額を予算化して対応する。
		教員 1 人当り研究費等	実験系 862千円 非実験系 579千円	実験系 862千円 非実験系 579千円	図書購入費	6,021千円	5,000千円	
	共同研究費等	A 3,000千円 B 15,000千円	A 3,000千円 B 15,000千円	設備購入費	458,136千円	0千円	0千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,900千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「別紙様式2」により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	椋山女学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
生活科学部 管理栄養学科	4	120	—	495	学士 (生活科学)	1.08	昭和24	名古屋市千種区星が丘元町17番3号	平成19年度から食品栄養学科の専攻（食品栄養学専攻及び管理栄養士専攻）を廃止し管理栄養学科に名称変更 平成19年度から入学定員を変更（食品栄養学科135人→管理栄養学科120人）
生活環境デザイン学科	4	132	2年次 2 3年次 3	540	学士 (生活科学)	1.11	昭和24		
国際コミュニケーション学部 国際言語コミュニケーション学科	4	105	2年次 4 3年次 4	440	学士 (国際コミュニケーション学)	1.15	平成15		
表現文化学科	4	95	2年次 4 3年次 4	400	学士 (国際コミュニケーション学)	1.24	平成15		
人間関係学部 人間関係学科	4	120	3年次 8	526	学士 (人間関係学)	1.19	昭和62	愛知県日進市岩崎町竹ノ山37番234	平成19年度から入学定員を変更（150人→120人） 平成19年度から3年次編入学定員を変更（15人→8人） 平成19年度から臨床心理学科を心理学科に名称変更 平成19年度から臨床心理学科の3年次編入学定員を変更（15人→8人）
心理学科	4	100	3年次 8	416	学士 (人間関係学)	1.22	平成14		
文化情報学部 文化情報学科	4	200	3年次 5	840	学士 (文化情報学)	1.17	平成12	名古屋市千種区星が丘元町17番3号	平成19年度から入学定員を変更（230人→200人） 平成19年度から3年次編入学定員を変更（20人→5人）
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	4	170	—	680	学士 (マナジメ)	1.15	平成15		
教育学部 子ども発達学科	4	147	2年次 2 3年次 3	448	学士 (教育学)	1.19	平成19		
看護学部 看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.05	平成22		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

・認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。

・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	後藤 節子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 倫理学(バイオエシックス) 疾病治療論Ⅳ(母性・小児) 性差保健医学 原書講読・研究序論						
専	教授	石井 英子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 地域・在宅・精神看護学概論 在宅看護支援論 地域看護行政・管理論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	教授	太田 美智男	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 栄養代謝学(生化学を含む。) 生体防御学(免疫学) 栄養治療論(食品学を含む。) 感染予防学(微生物学) 感染予防学演習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	教授	木村 美智子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護学概論(看護理論を含む。) 基礎看護技術学演習Ⅰ (安全・安楽確保の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅱ (生活行動の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅲ (診療援助技術) 看護健康教育論 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	教授	栗田 孝子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護倫理 コミュニケーション技術論演習 看護管理学 (リーダーシップ論を含む。) 総合実習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	教授	後藤 宗理	平成22年4月	人間論 心理 教育 ファーストイヤーゼミ 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	教授	柴山 健三	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ リハビリテーション論 療養支援看護学概論(成人・老 療養支援看護論Ⅰ (急性期・回復期・周手術期) 療養支援看護論演習Ⅰ(成人期) 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	菅屋 潤壹	平成23年4月	ファーストイヤーゼミ 人体の構造機能学Ⅰ(総論) 人体の構造機能学Ⅱ 人体の構造機能学Ⅲ 疾病治療論Ⅱ(成人・老年) 医療薬理学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
兼任	講師	菅屋 潤壹	平成22年4月	人体の構造機能学Ⅰ(総論) 人体の構造機能学Ⅱ 人体の構造機能学Ⅲ 疾病治療論Ⅱ(成人・老年)						
専	教授	田邊 恵子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護学概論(小児・母性) 母子支援看護論Ⅰ(小児) 母子支援看護論演習Ⅰ(小児) 小児看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)			平成23年4月			一身上の都合により、就任が遅延(22) ※平成22年度開講科目「ファーストイヤーゼミ」は他の教員が担当する。他科目は平成23年度以降開講のため、支障はない。
専	教授	鳥居 修平	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 疾病治療論Ⅰ(総論) 疾病治療論Ⅱ(成人・老年) 疾病治療論Ⅲ(成人・老年) 保健医療概論 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	教授	中島 正夫	平成23年4月	人間論 ファーストイヤーゼミ 疾病治療論Ⅳ(母性・小児) 公衆衛生学 保健統計学 疫学 保健福祉行政論 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
兼任	教授	中島 正夫	平成22年4月	人間論 疾病治療論Ⅳ(母性・小児)						
専	准教授	荒井 淑子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 療養支援看護学概論(成人・老年) 療養支援看護論Ⅱ(慢性期・老年期) 療養支援看護論演習Ⅱ(老年期) 早期体験実習 老年看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	准教授	石原 由華	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 感染予防学(微生物学) 感染予防学演習 フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開論演習(ケースメソッドを含む。) 基礎看護技術学演習Ⅰ(安全・安楽確保の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅲ(診療援助技術) 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 家族看護学 総合技術論演習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	宇佐美 久枝	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 療養支援看護学概論(成人・老年) 療養支援看護論Ⅱ (慢性期・老年期) 療養支援看護論Ⅲ(終末期) 療養支援看護論演習Ⅰ(成人期) 慢性期成人看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	准教授	熊澤 千恵	平成23年4月	ファーストイヤーゼミ 地域・在宅・精神看護学概論 精神看護支援論(精神健康障害を含む。) 在宅精神看護論 精神看護技術学演習 精神看護学実習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	准教授	小島 重子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅰ (急性期・回復期・周手術期) 療養支援看護論演習Ⅰ(成人期) 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	准教授	高植 幸子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開論演習 (ケースメソッドを含む。) 基礎看護技術学演習Ⅰ (安全・安楽確保の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅱ (生活行動の援助技術) 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	准教授	西谷 直子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 地域看護行政・管理論 地域看護活動実践論 地域健康教育指導論 地域・在宅看護学演習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	准教授	肥田 佳美	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 地域看護支援技術論 在宅看護支援論 地域看護行政・管理論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	講師	青石 恵子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 疫学 地域看護支援技術論 地域看護活動実践論 地域健康教育指導論 地域・在宅看護学演習 在宅看護学実習 地域公衆衛生看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	井野 恭子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護過程展開方法論 (ケースメソッドを含む。) 看護過程展開論演習 (ケースメソッドを含む。) 基礎看護技術学演習Ⅰ (安全・安楽確保の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅱ (生活行動の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅲ (診療援助技術) 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	講師	大嶋 光子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 精神看護支援論 (精神健康障害を含む。) 在宅精神看護論 精神看護技術学演習 精神看護学実習 家族看護学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	講師	田中 結花子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅱ (慢性期・老年期) 療養支援看護論演習Ⅱ(老年期) 早期体験実習 老年看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	講師	中嶋 文子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 母子支援看護学概論(小児・母性) 母子支援看護論Ⅱ(母性) 母子支援看護論演習Ⅱ(母性) 母性看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	講師	深谷 久子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 看護健康教育論 母子支援看護論Ⅰ(小児) 母子支援看護論演習Ⅰ(小児) 在宅精神看護論 小児看護学実習 家族看護学 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	講師	星野 純子	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 疫学 看護健康教育論 療養支援看護論Ⅱ(慢性期・老年) 療養支援看護論演習Ⅰ(成人期) 慢性期成人看護学実習 急性期成人看護学実習 統合看護論 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	奥川 ゆかり	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ 母子支援看護学概論(小児・母性) 母子支援看護論Ⅱ(母性) 母子支援看護論演習Ⅱ(母性) 母性看護学実習 家族看護学 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)						
専	助教	佐藤 好恵	平成22年4月	ファーストイヤーゼミ フィジカルアセスメント学演習 看護過程展開方法論 (ケースメソッドを含む。) 看護過程展開論演習 (ケースメソッドを含む。) 基礎看護技術学演習Ⅱ (生活行動の援助技術) 基礎看護技術学演習Ⅲ (診療援助技術) 早期体験実習 基礎看護技術学実習 看護過程展開論実習 総合実習 総合技術論演習 原書講読・研究序論 看護研究(卒業論文)			原 好恵			氏名変更(22)
兼任	教授	上嶋 正博	平成22年4月	人間論						
兼任	教授	岡田 敦	平成22年4月	臨床心理学 カウンセリング論						
兼任	教授	加藤 益幹	平成22年4月	歴史						
兼任	教授	北岡 崇	平成22年4月	哲学						
兼任	教授	高阪 謙次	平成22年4月	人間論						
兼任	教授	佐藤 厚子	平成22年4月	言語表現と伝達						
兼任	教授	武長 脩行	平成23年4月	ボランティア論						
兼任	教授	三井 悦子	平成22年4月	健康運動の科学と実践						
兼任	教授	渡邊 毅	平成22年4月	人間関係論						
兼任	准教授	三木 邦弘	平成22年4月	統計の世界						
兼任	准教授	藤岡 阿由未	平成23年4月	文学 芸術						
兼任	講師	藤岡 阿由未	平成22年4月	文学 芸術						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小杉 裕子	平成22年4月	芸術						
兼任	講師	大西 祥世	平成22年4月	日本国憲法	兼任	講師	手塚 崇聡	平成22年4月	日本国憲法	平成22年4月 前任者退職による担当者 変更(22)
兼任	講師	吉本 明宣	平成22年4月	数理の世界						
兼任	講師	中尾 友紀	平成22年4月	社会福祉学						
兼任	講師	梶山 正弘	平成22年4月	人間論						
兼任	講師	井嶋 廣子	平成25年4月	災害看護学						
兼任	講師	伊藤 明子	平成25年4月	国際看護論						
兼任	講師	内山 靖	平成22年4月	リハビリテーション論						
兼任	講師	大井 正己	平成23年4月	精神看護支援論 (精神健康障害を含む。)						
兼任	講師	川泉 文男	平成22年4月	化学の世界						
兼任	講師	河辺 義信	平成22年4月	コンピュータと情報(応用)						
兼任	講師	Keith John Vargo	平成22年4月	外国語(英語) I	兼任	講師	Miller Rachel Marie	平成22年4月	外国語(英語) I	平成22年4月 前任者辞退による担当者 変更(22)
兼任	講師	北坂 孝幸	平成22年4月	コンピュータと情報						
兼任	講師	重松 由美	平成22年4月	外国語(ポルトガル語) I 外国語(ポルトガル語) II						
兼任	講師	杉崎 隆一	平成22年4月	環境の科学						
兼任	講師	杉本 百合香	平成23年4月	リスクマネジメント (安全・管理)						
兼任	講師	関 巖	平成22年4月	健康運動の科学と実践						
兼任	講師	高野 智	平成22年4月	人類学						
兼任	講師	田中 俊雄	平成23年4月	養護概論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	張 素芳	平成22年4月	外国語(中国語) I 外国語(中国語) II						
兼任	講師	中島 晴子	平成22年4月	生命の科学						
兼任	講師	中野 典子	平成22年4月	栄養代謝学 (生化学を含む。) 栄養治療論 (食品学を含む。)						
兼任	講師	西牟田 祐美子	平成22年4月	外国語(英語) III 外国語(英語) IV						
兼任	講師	Philip Gerard Colley	平成22年4月	外国語(英語) II						
兼任	講師	三浦 昌子	平成25年4月	医療活動と協働						
兼任	講師	森 滋夫	平成22年4月	自然の科学						
兼任	講師	八巻 哲示	平成22年4月	物理の世界						
兼任	講師	山口 清	平成22年4月	健康運動の科学と実践						
					兼任	講師	許 麗	平成22年4月	外国語(中国語) I	平成22年4月 履修者増加によるクラス追加(22)
					兼任	講師	Delve Michael Robert	平成22年4月	外国語(英語) I	平成22年4月 クラス編成の都合による担当者の追加(22)

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
11	8	7	2	28	22	11	8	7	2	28	22	
(9)	(7)	(7)	(2)	(25)	(15)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			該当なし
2			
3			

(注)・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年11月)	<p>1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p> <p>2. 国際コミュニケーション学部表現文化学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>学生の通学のほか、スポーツの授業、学生の課外活動のためにキャンパス間にスクールバスを運行し、対応している（平日：約20分間隔）。②②【資料1】</p> <p>入学予定者の歩留率についての推計が甘く、現在国際コミュニケーション学部表現文化学科の平均入学定員超過率が1.30となっている。入学定員超過率を各年度1.0倍に抑えるべく、歩留率の推計の精度を上げて、別紙のとおり平均入学定員超過率の是正に努めている。②②【資料2】</p>	

(注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。

2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	「早期体験実習」（1年次・1単位）について、実習先医療機関との協議の結果、実習を円滑に実施し、学生の学習効果を高めるため、実習時の補助者配置を充実することが望ましいとの結論に達し、設置認可時の専任担当教員7名（全員判定済「可」）及び補助者である助手8名に加えて、教員3名及び助手3名を補助者として追加配置することとした。このうち、追加配置となる教員は、助手と同様に、あくまで設置認可時の専任担当教員の指揮の下に実習の補助を担当するものであり、直接学生等の指導を行うものではない。なお、今後完成年度に向けて助手の採用数が増加する予定であるため、本措置は平成22年度限りの対応である。

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>[全学的な取り組み]</p> <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学FD委員会を設置</p> <p>全学FD委員会規準 添付(資料3)</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>○全学FD委員会委員の任期：平成21年5月1日～平成22年4月30日</p> <p>第1回：平成21年 4月27日(月) 出席委員14名</p> <p>第2回：平成21年 5月26日(火) 出席委員11名</p> <p>第3回：平成21年 6月30日(火) 出席委員11名</p> <p>第4回：平成21年 7月28日(火) 出席委員12名</p> <p>第5回：平成21年 8月28日(金) 出席委員12名</p> <p>第6回：平成21年 9月29日(火) 出席委員12名</p> <p>第7回：平成21年10月27日(火) 出席委員10名</p> <p>第8回：平成22年 1月26日(火) 出席委員11名</p> <p>第9回：平成22年 2月23日(火) 出席委員10名</p> <p>第10回：平成22年 3月23日(火) 出席委員11名</p> <p>第11回：平成22年 4月27日(火) 出席委員23名（新旧合同）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>第1回</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学長からの提案（報告） 2. 平成20年度「リフレクション・ペーパー」の閲覧状況について（報告） 3. 平成21年度授業アンケートの実施に関するWGについて（報告） 4. 引継ぎ事項について（報告） 5. 平成21年度全学DF委員会委員長の選出に関する件 6. 平成21年度全学FD委員会活動に関する件 7. その他 <p>第2回</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成21年度全学FD委員会活動について（報告） 2. 平成21年度全学FD委員会学部予算について（報告） 3. 平成21年度FD講演会のお知らせに関する件 4. 平成21年度「FD研修会」及び「FDのための授業公開」の募集に関する件 5. その他 <p>第3回</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成21年度全学FD講演会について（報告） 2. 平成21年度FD研修会に関する件 3. 平成21年度後期授業アンケートに関する件 4. 平成21年度全学FD委員会学部予算に関する件 5. その他 <p>第4回</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成21年度FDのための授業公開について（報告） 2. 平成21年度後期授業アンケートに関する件 3. 平成21年度FD研修会に関する件 4. 新任研修に関する件 5. シラバスに関する件 6. その他 <p>第5回</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成21年度後期授業アンケート実施に関する件 2. その他
--

第6回

1. 平成21年度FD講演会の実施について（報告）
2. 平成22年度シラバス様式に関する件
3. 平成21年度後期授業アンケートに関する件
4. 平成21年度FD研修会に関する件
5. 平成22年度全学FD委員会活動に関する件
6. 平成22年度全学FD委員会予算に関する件
7. その他

第7回

1. 平成21年度前期授業アンケートについて（報告）
2. 授業アンケートのシステム化について（報告）
3. 平成21年度FD研修会に関する件
4. 平成21年度後期授業アンケートに関する件
5. 平成21年度全学FD委員会活動報告書の作成に関する件
6. 平成22年度全学FD委員会予算に関する件
7. 平成22年度新任教員研修（教学）に関する件
8. その他

第8回

1. 平成21年度FD研修会の実施状況について（報告）
2. 平成21年度後期授業アンケートの進捗状況について（報告）
3. 平成21年度全学FD委員会活動報告書の執筆担当者について（報告）
4. 平成21年度予算の執行状況について（報告）
5. 平成22年度全学FD委員会活動に関する件
6. 全学FD委員会検討課題について
7. その他

第9回

1. 平成21年度後期授業アンケート実施状況について（報告）
2. 平成21年度リフレクション・ペーパーの提出状況について（報告）
3. 平成21年度リフレクション・ペーパーの公開（閲覧）について（報告）
4. 平成21年度授業アンケート実施に関する意見書について（報告）
5. 相山女学園大学全学FD委員会規準の一部改正（案）に関する件
6. 平成22年度授業アンケートに関する件
7. その他

第10回

1. 平成21年度リフレクション・ペーパーの提出状況（最終版）について（報告）
2. 平成21年度全学FD委員会予算執行状況について（報告）
3. 平成22年度新任教員研修について（報告）
4. 平成22年度授業アンケートに関する件
5. その他

第11回

1. 学長からの提案（報告）
2. 平成21年度リフレクション・ペーパーの閲覧状況について（報告）
3. 平成22年度前期授業アンケートの実施について（報告）
4. 平成21年度全学FD委員会予算の執行状況について（報告）
5. 平成22年度全学FD委員会予算について（報告）
6. 引継ぎ事項について
7. 平成22年度全学FD委員会委員長の選出に関する件
8. 平成22年度全学FD委員会活動に関する件
9. 平成22年度前期授業アンケートの実施に関する件
10. その他

② 実施状況

a 実施内容

<授業評価アンケート>

b 実施方法

<授業評価アンケート>

1. 実施の目的

授業が学生にどのように受け止められているのかの全体的傾向を理解し、教員に対して授業の質的向のヒントを提供することを目的とする。

2. 実施時期

平成21年11月30日(月)～12月5日(土)(予備日)

平成21年12月7日(月)～12月12日(土)

平成21年12月14日(月)～12月19日(土)(予備日)

3. 対象科目

平成21年度後期開講の授業科目のうち、卒業研究、集中講義、オムニバス形式の科目及び受講者が10名以下の科目を除くすべての科目で実施する。

4. 実施方法

○学生へ授業アンケートの実施について学生支援システムのジャーナル機能を利用し通知。

○対象科目ごとに封入された授業アンケート調査用袋を各学部事務室、教員のメールボックスに配布。

○授業時間内に実施。時間は15分～20分。学生がアンケートに回答している間は、匿名性が保たれるよう、十分に配慮する。

○実施済みのアンケート用紙は、学部事務室まで提出。

○授業ごとの集計結果を、各学部事務室の教員のメールボックスまたは、自宅へ送付。

c 実施状況(教員の参加状況含む)

<授業評価アンケート>

○実施対象科目数1,048科目の内、862科目で実施した。(82.3%)

○実施教員数は、346名であった。(79.5%)

○「リフレクション・ペーパー」(「授業についてのアンケート調査」結果を踏まえた授業評価)の提出者は、229名であった。(57.0%)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

<授業評価アンケート>

○教員による「リフレクション・ペーパー」(「授業についてのアンケート調査」結果を踏まえた授業評価)を科目ごとに作成し、学生支援システムを使用して、PDF版冊子を当該学部の学生に対し閲覧可能とした。(学生のアクセス数は、合計5,767件であった。)

○授業アンケート結果を踏まえた自己点検・授業評価(冊子)を作成し教員同士が閲覧できるようにした。

○授業アンケートの分析結果を掲載した、全学FD委員会活動報告書(PDF版)を大学のホームページに公開した。

a 実施内容

<新任教員研修開催>

b 実施方法

<新任教員研修開催>

開催日：平成21年4月1日

新任教員に対して、学生支援システム的使用方法について研修会を行なった。

a 実施内容

<FD研修会の開催>

c 実施状況

<FD研修会の開催>

開催日：平成21年12月24日(木)10:30～12:20

対象者：大学の教育職員、大学の非常勤講師(希望者)、事務職員(希望者)

場所：本学星が丘キャンパス文化情報学部メディア棟001講義室

テーマ：FD活動の成果と課題

話題提供者：全学FD委員

①米田公則 —大学に求められているFD活動—

②塚田守 —全学FD活動と学部FD活動の補完的關係—

③宮川充司 —新設学部としての教育学部のFD活動—

④田中節雄 —FDの成果と課題—

シンポジウム形式で研修会を実施した。参加者は事務職員5名、教員99名であった。

a 実施内容

<FD講演会の開催>

c 実施状況

<FD講演会>

開催日：平成21年9月17日(木)14:00～15:30

講師：山田礼子氏 同志社大学社会学部教授、同志社大学教育学部開発センター長

テーマ：学士課程教育の構築に向けて —プロセス評価としての学生調査をベースに—

場所：本学星が丘キャンパス生活科学部科学部棟B110講義室

参加教員数は76名であった。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部は平成22年度開設のため、次年度以降報告予定。

② 自己点検・評価報告書

現在、平成21年度に行なった大学事業の自己点検・評価報告書である「大学年報（第14号）」を刊行する予定で準備を進めている。

a 公表（予定）時期

平成22年10月下旬（予定）

b 公表方法

- ・大学のインターネットホームページ上に公開する。
- ・大学年報を刊行し、専任教職員、官公庁及び他大学に配付する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・財団法人大学基準協会による「平成18年度相互評価ならびに認証評価」を受け、平成19年3月13日付けで「適合」の判定を受けた。（有効期限：平成26年3月31日）
- ・看護学部については、次回の認証評価において評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成22年 7月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.sugiyama-u.ac.jp/daijaku/annai/shinsei.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

【平成22年4月8日(木)~】

星が丘方面スクールバス時刻表（月曜日～金曜日）

※始発便の発車場所は星が丘自動車学校です。

●は一社東経由

乗車時：飲食厳禁・学生証提示

日進キャンパス→	一社東→	星が丘キャンパス→	一社東→	日進キャンパス着
星が丘自動車学校から随時発車		→ 8:25~8:40		8:45~9:00
9:00		9:20		9:35
● 9:20	● 9:30	● 9:40		● 9:55
9:40		10:00		10:15
● 10:00	● 10:10	● 10:30		● 10:45
10:20		10:40		10:55
● 10:45	● 10:55	● 11:05		● 11:20
11:00		11:20		11:35
● 11:20	● 11:30	● 11:40		● 11:55
11:40		12:00		12:15
12:00		12:20		12:35
12:20		12:40		12:55
● 12:30	● 12:40	● 12:50	● 12:55	● 13:10
12:40		13:00		13:15
13:00		13:20		13:35
13:20		13:40		13:55
13:40		14:00		14:15
● 14:00	● 14:10	● 14:20	● 14:25	● 14:40
14:20		14:45		15:00
14:40		15:00		15:15
● 15:00	● 15:10	● 15:20	● 15:25	● 15:40
15:20		15:40		15:55
15:40		16:00		16:15
16:00		16:20		16:35
16:20		16:40		16:55
● 16:40		● 17:00	● 17:05	● 17:20
16:40		17:00		17:15
17:00		17:20		17:35
17:30		17:50		18:05
18:00		18:20		18:35
● 18:20		● 18:40	● 18:45	● 19:00
▲ 18:50		19:10		

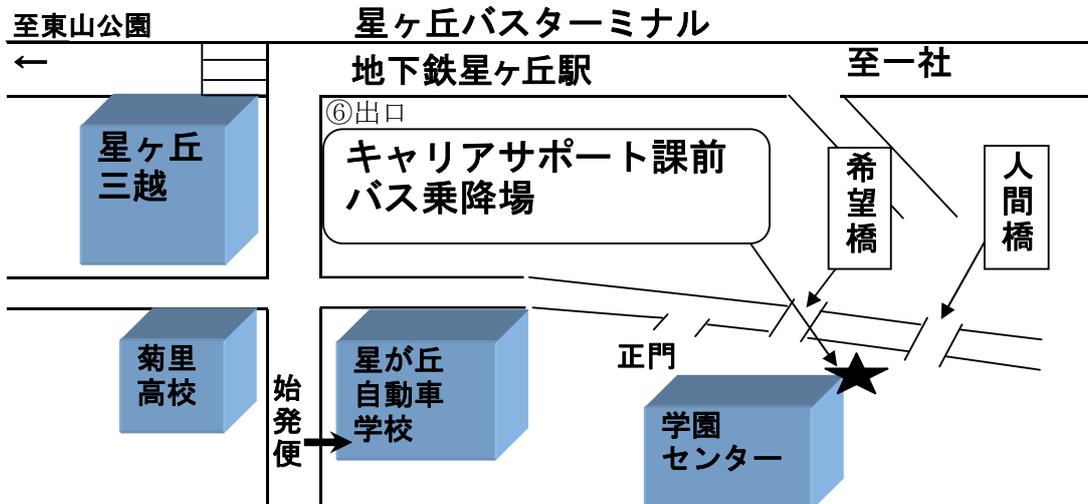
星が丘方面スクールバス時刻表（土曜日）

※すべてキャリアサポート課前からの乗降車になります

日進キャンパス →	一社東	→ 星が丘キャンパス	→ 一社東	→ 日進キャンパス着
		8:40		9:00
● 9:00	● 9:10	● 9:20		● 9:35
9:40		10:00		10:15
● 10:00	● 10:10	● 10:20		● 10:35
10:30		10:50		11:05
● 11:00	● 11:10	● 11:20		● 11:35
11:30		11:50		12:05
12:00		12:20		12:35
● 12:30		● 12:50	● 12:55	● 13:10
13:00		13:20		13:35
14:00		14:20		14:35
15:00		15:20		15:35
16:00		16:20		16:35
● 17:00		● 17:20	● 17:25	● 17:40
▲ 17:40		18:00		

＜利用上の注意＞

- ①バスは途中、「極楽」交差点近くで乗降車できます。（詳細場所は学内掲示で確認のこと）
利用する場合は、車内から確認できるよう大きく手を上げてください。極楽停車場通過時間は、星が丘キャンパスからおおよそ10分前後を目安としてください。日進キャンパス発一星が丘キャンパス行、特に一社東経由においては、「高針台中東」交差点付近での降車となる場合があります。
- ②天候や道路状況等により遅延着になる場合があります。
- ③星が丘方面は乗車人数も多く、特に8:40、10:30、13:00のスクールバスは満車で乗車できなくなることが予測されますので、早めの便に乗車してください。
- ④▲は日進キャンパスで利用者がいない時は運休します。



入学定員超過の状況

椋山女学園大学

学部等名	項目	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
国際コミュニケーション学部 (合計)	入学定員超過率	(1.28)	(1.30)	(1.20)	(1.28)	(1.03)	(1.00)	(1.00)	(1.00)
	入学者数	256	260	241	256	206	200	200	200
	入学定員	200	200	200	200	200	200	200	200
国際言語コミュニケーション学科	入学定員超過率	(1.28)	(1.23)	(1.16)	(1.21)	(1.02)	(1.00)	(1.00)	(1.00)
	入学者数	135	130	122	128	108	105	105	105
	入学定員	105	105	105	105	105	105	105	105
表現文化学科	入学定員超過率	(1.27)	(1.36)	(1.25)	(1.34)	(1.03)	(1.00)	(1.00)	(1.00)
	入学者数	121	130	119	128	98	95	95	95
	入学定員	95	95	95	95	95	95	95	95
平均定員超過率(過去4年)	国際コミュニケーション学部				1.26	1.20	1.12	1.07	1.00
	国際言語コミュニケーション学科				1.22	1.16	1.10	1.06	1.01
	表現文化学科				1.30	1.24	1.15	1.09	1.00

椋山女学園大学全学FD委員会規準

平成12年大規準第4号

平成12年5月16日制定

(趣旨)

第1条 この規準は、椋山女学園大学におけるファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development) に関する事項を円滑かつ有効に推進するために設置する全学FD委員会 (以下「委員会」という。) について必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、前条の趣旨を実現するため、ファカルティ・ディベロップメントに関する次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 企画・立案に関する事項
- (2) 必要な研究調査に関する事項
- (3) 学部間の連繋及び調整に関する事項
- (4) 研究会、講演会及び教員研修等に関する事項
- (5) 大学間の連携等に関する事項
- (6) その他学長が特に必要と認める事項

(委員会)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学長が指名する学長補佐
 - (2) 各学部のFD委員会の委員 各1名
 - (3) 学長が指名する者 若干名
- 2 前項第2号及び第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 第1項第2号の委員に欠員が生じた場合には、その都度委員を補充しなければならない。この場合において、補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員会に、委員長を置き、委員長は学長補佐をもって充てる。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

- 2 会議は、各学部1名以上の委員を含む委員の過半数の出席により成立する。
- 3 会議には、議長が必要と認めた場合、委員以外の者を陪席させることができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務課が行う。

(学部委員会)

第6条 各学部に学部FD委員会を設置するものとする。

- 2 前項の学部FD委員会の構成、委員長の選任方法及び委員の任期については、当該学部の教授会において定める。

(規準の改廃)

第7条 この規準の改廃は、委員会が発議し、大学協議会の議を経て学長が決する。

附 則

この規準は、平成12年5月16日から施行する。

附 則 (平成19年大規準第8号)

この規準は、平成19年9月1日から施行する。

附 則 (平成22年大規準第9号)

この規準は、平成22年4月1日から施行する。